

6年で投資回収し雇用も創出！ 地熱バイナリー発電で 過疎化が進む温泉地を活性化

今年の4月に創業6年目を迎えたグローバル・リンク。太陽光発電から事業を立ち上げ、今ではノンフロン自然冷媒ガスや減菌装置など、発電事業以外でも存在感を示している。どの事業においても地方自治体や国内外の企業からの受注を数多く獲得し、地熱バイナリー発電機においては、来年までに発電所数基が稼働予定だ。

取材・文/大川晶子

PV業界で培った技術力で 地方自治体の問題を解決

太陽光発電から派生したグローバル・リンクの技術は、クリーンなエネルギーを生み出すだけでなく、地方自治体の問題解決にも一役買っている。

減菌装置「エコエンジェル」は、プラスチック製品や感染性廃棄物などの処理に困る地方自治体の救世主となっていて、国内に留まらずタイなど海外からも問い合わせがあるという。発泡スチロールやFRP（繊維強化プラスチック）は燃やすと熱量が非常に高い炭素棒になるため、地方自治体のゴミ処理場で燃やすと炉が傷んでしまう可能性がある。「エコ・エンジェル」であれば、溶融減菌することで、焼却せずにプラスチックゴミを処分できるのだ。

さらに、減菌処理された医療廃棄物は油化装置「エコ・エース」



地獄谷温泉には、蒸気がひとりでに吹き出しているところも。

で再生油に還元できるほか、その過程で生じる排熱を利用してタービンを回し、再生油で発電エンジンを回すとダブルで発電できることも注目されている。

これまで難しいとされていた事例を可能にしている技術畑出身の富樫社長のアイデアと同社の技術力。地熱バイナリー発電では、一般的に130℃まで達しないと水蒸気でタービンが回らないとされているが、同社ではガスをブレンドして沸点を低くし、70℃ほどでタービンが回るように改良。これにより、発電所設置場所の条件が大幅に緩和された。

同社では昨年8月に長野県下高井郡山ノ内町の角間温泉「フォーシーズンズスパ・宝泉」をM&Aで買い取った。同施設内に建設していた地熱バイナリー発電所3基が今年稼働し、ゆくゆくは9基まで増やす予定で、長野県下高井郡山ノ内町の温泉に入る二ホザルで知られる地獄谷温泉の近くにも設置予定だ。太陽光発電から始めた企業で、ここまで短期間で地熱バイナリー発電所を稼働させたのは、同社が初めてだという。

創エネによる利益の 1/3を村に還元

現在、同社では別の温泉地に行政との官民一体型の地熱バイナリー発電所建設の計画を進めている。そのうちの1つの自治体は人口が2000人を切る過疎地域。移住を積極的に誘致しているが、雇用が少なかったため定住してもらうには厳しい環境だ。そこで「子供のために地域に何か残したい」と、自治体が同社による地熱バイナリー発電所を誘致した。



計画が進行中の温泉地に設置された地熱バイナリー発電の設備。

は、エネルギーと同時に、1基あたり1〜2人の雇用を生む。さらに、廃棄される蒸気で発電するため、近隣の温泉の泉質や温度が変わったり環境を壊したりする心配は一切ない。

同社による地熱バイナリー発電所は1基あたり2億4000万円分の発電をするため、年間のメンテナンス費用400万円や人件費を踏まえても6年で回収できる。

「当社が創エネで得られる収入の



代表取締役社長
富樫浩司氏

造船会社などで蓄電研究に携わり、東日本大震災をきっかけに起業。技術畑出身で高機能製品を次々と生み出す。

1/3は自治体に寄付をし、そのお金で大きなビニールハウスを作るなどして新しい特産品を作ってもらいたい」（富樫社長）。現在の村の特産物以外にも、地熱を利用したビニールハウスの温熱栽培を行えば、市場で高く取引されるマンゴーや葉草、フルーツのように甘いトマトなど新しい特産を作ることができると。

地熱バイナリー発電所建設の計画を進めている自治体の小学校では、小学生が地域のPRパンフレットを制作している。同社の地熱バイナリー発電所が創る新たな自治体の未来が今後どのように描かれていくのか楽しみだ。

地球環境に貢献する グローバル・リンクの エコ・プロダクト



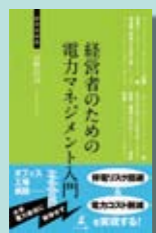
全自動制御
超小型湿式減菌装置
「エコ・エンジェル」



油化プラント装置
「エコ・エース」

世界中で様々な感染菌が猛威を振るう中、地球環境に安心を届ける社会貢献システムとして開発された「エコ・エンジェル」と「エコ・エース」。プラスチック製の産業廃棄物はもちろん、医療廃棄物も減菌処理される。インゴットから再生油を生成し、70%を工場、ビニールハウス、船舶などの燃料に利用。残りは金属やカーボンの原料として資源化しリサイクル活用できる。

Check!



『経営者のための 電力マネージメント入門』

東日本大震災以降、企業が使用する「産業用電力」の事情は大きく変化。価格高騰、停電リスクの上昇により、経営者にとっては、これまで以上に徹底した電力対策が求められる時代がやってきた。電力コンサルティングのプロである富樫社長が、発電・蓄電システムを導入し「自社発電」するためのノウハウを解説。（幻冬舎メディアコンサルティング発行・定価864円）



グローバル・リンク株式会社

本社：東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビル12階
☎03-6269-9660 globallink.co.jp